

ハロゲン球 Ø25

50W相当



製品品番

BLV2511SS-NVW3H1DM2
 BLV2511M-NVW3H1DM2
 BLV2511W-NVW3H1DM2
 BLV2511WW-NVW3H1DM2

仕様

入力電圧(V)	100
消費電力(W)	3.5
定格周波数(Hz)	50/60
全光束(lm)	300
発光効率(lm/w)	85.7
力率	>0.7
色温度(K)	2700
平均演色評価数	80+
ビーム角度(°)	10/20/30/60
口金	E11
操作条件(°C)	-20~40

調光可能

認証

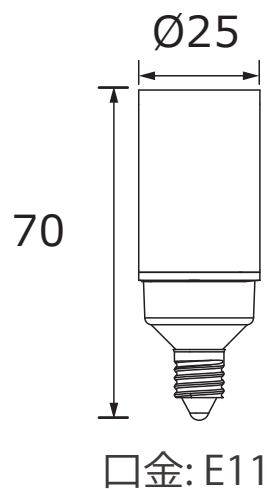


**SPoT
Focus**

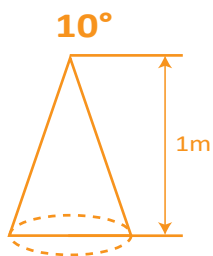
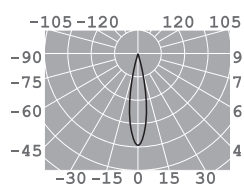
**COLOR
PRO**
R9>50
R13>85
R15>85

寸法図

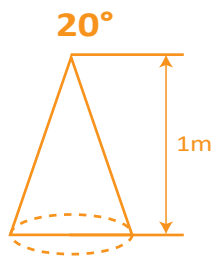
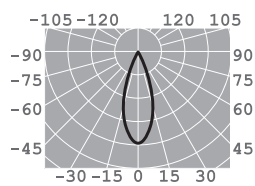
寸法 (mm)	Ø25*70
重量 (g)	44
口金	E11



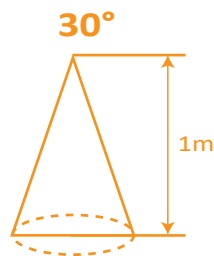
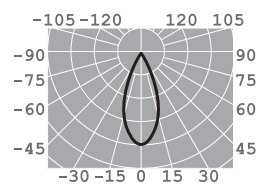
光度分布图



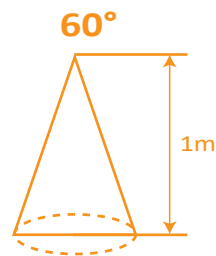
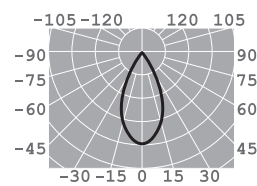
1800 lx



1320 lx



840 lx



375 lx

梱包

	G.W	V.W	梱包寸法	数量
個装箱	65g	-	53*53*83mm	1pc of lamp
外箱	13Kg	12Kg	590*304*400mm	200pcs of white box

安全上の注意

ランプ周囲温度が40℃を超える場所では使用しないでください。(推奨使用周囲温度は5～40℃です。)

密閉型または密閉に近い器具では温度上昇が大きくなり、寿命が短くなるので使用しないでください。(適合表示器具を除く)

使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。

人感スイッチなど自動点滅装置や遅れスイッチなど使用できない場合があります。

ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くですと、雑音が入ることがありますのでご注意ください(雑音が入る時はランプから1m以上離してご使用ください。)

赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。

ランプを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

分解や改造はしないでください。LED素子などは交換できません。

水洗いは絶対にしてしないでください。

LEDにはバラックがあります。商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

定格寿命を経過したランプは交換をおすすめします。

非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯などHID器具、断熱材施工器具などでは絶対に使用しないでください。(適合表示器具を除く)(破損・発煙の原因)

取り付け、取り外しや器具掃除の時は必ず電源を切ってください。(感電の原因)

紙や布などの燃えやすいものに近づけないで下さい。(火災の原因)

ランプはソケットに確実に取り付けて下さい。(落下の原因)

点灯中や消灯直後はランプが熱いので絶対に触れないでください。(ヤケドの原因)

物をぶつけたり、傷をつけたり、強く握ったりしないでください。(破損・ケガの原因)

水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。(破損の原因)

調光機能のガイド

調光機能付LEDランプ使用上のご注意

- LED ランプの最大負荷は、主な調光器メーカーからまだ明確な定義がなされておられません。
- BLTC ハイパワー調光機能付 LED ランプは、大半のトライアック式調光器とトレーシング式調光器と互換性がありますが、市販の調光器によって制御方式と品質が異なりますので、全ての調光器との互換は保証できません。一部の互換による不具合は騒音や点滅、設定より強く発光してしまうことを含んでいます。
- 調光器に接続する LED ランプは最大負荷ワット数に制限がありますので、接続する LED ランプの最大付加ワット数は 調光器の最大負荷ワット数の 20% 以内のランプを使用することを推奨します。例えば、ある調光器の最大負荷ワット数が 600 ワットである場合は、接続する LED ランプは最大負荷ワット数が 120 ワット以下のランプを使用することを推奨します。
- 赤外線リモコンを使う機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。
- 調光つまみを 10%以下に設定すると、電源スイッチを入れてもちらつく場合や点灯しない場合があります。このような場合は、調光つまみを 100%に設定して再度電源スイッチを入れてください。
- 調光つまみの設定位置によっては、電源スイッチを入れても点灯までに時間がかかる場合があります。
- 器具側に調光機能や回路が付いている場合は、調光器対応型以外の LED ランプは使用しないでください。調光器が誤作動し、ランプに過大な入力電流が流れ、ランプの破損や発煙の原因となります。
- 次のような調光器と組み合わせで使用した場合、点灯しない場合や調光できない場合があります。
 - 人感センサー付調光器
 - 段階調節型調光器
 - リモコン操作式調光器
 - メモリー機能付調光器(色々な灯りのシーンをボタンなどで再現できる調光器。)

- 調光した時の明るさは電力の変化や LED ランプごとによって違いが出ます。
- 調光つまみの設定位置が低い状態で電源スイッチを入れたら、一瞬明るくなる場合があります。
- 調光つまみの設定位置が低い状態では、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、ヘアドライヤーなどの高消費電力機器を使用したことによる電圧の低下などによって、ランプが消灯したり暗くなったりする場合があります。
- 消灯するときは電源スイッチを切ることを推奨します。
- 複数のランプを 1 つの調光器で調光する場合は、調光つまみの設定位置が低い状態では個々のランプ特性により点灯しないランプがあったり、明るさにばらつきがでたりする可能性があります。
- 調光した場合に、わずかに「ジー」という音が入ることがありますが異常ではありません。
- 調光時にランプがちらつく場合は、調光器のつまみを操作してちらつかない設定位置で使用してください。

調光異常現象の解決例

- 調光器が他の電気製品を使用していない独立したACラインに接続されているのかを確認してください。特に冷蔵庫、エアコン、洗濯機、ヘアドライヤーなどの高消費電力機器に繋がれていると、調光できなかつたり、点滅したりする可能性があります。

100V LEDランプの調光制限

ほとんどのランプはRC構造(抵抗・容量減少電源)が線形IC構造である。これらのランプは基本的に通常のTRIAC調光器との適合性があるが、通常調光効果は良くない。複数のランプを並列に接続し、1台のTRIAC調光器で調光する場合、負荷の増加によって調光性能が良化する場合があります。● 大半の調光器には、最小出力電力の制限があります。調光器1台とLED電球1個の組み合わせで、調光に異常が発生した場合、調光器1台とLED電球2個以上の組み合わせで試してみてください。また、必ず調光器を100%の出力に設定したときに、繋げているLED電球の消費電力の合計が35W以上になるようにしてください。

12V LED電球の変圧器ガイド

低電圧LED電球の変圧器に関する説明

(1)12VAC変圧器(110VACあるいは220VACから12VACへの変圧)市販されている12VACの変圧器は主に2種類ある:

A. AC磁気式変圧器: 重そうな外見で、鉄心を持ち、コイルをらせん状に巻きつける方法によって電圧を上下させる。電子部品は一切無く、安定して電圧をかけることができる(負荷が小さい場合でも非常に安定している)。低電圧LED電球との適合性が良いので、直接接続して使用できる。

B. AC電気式変圧器: 小さくて軽量、電子部品のケースは通常金属かプラスチックでできていて、安価な価格で販売されている。MR16ハロゲン球には適合するが、低電圧LED電球との適合性は良くない。適合しない変圧器を使用した場合、以下のような問題が発生する可能性がある。1. 不点灯 2. ちらつき 3. 一定期間使用した後のちらつき

(2)12VDC変圧器(100V~240VACを入力して12VDC(直流電圧)を出力する。)直流は一定であり、最終的にLED電球にかかる電圧は直流電圧であるため、12VDC変圧器では高い安定性を示す。変圧器の種類は磁気式・電気式を問わない。

12V LED電球の調光制限

- 以下の種類のランプは適切な組み合わせにあるとき調光が可能である。(MR11/MR16/G4/AR111/PAR36/12V A19) ただし、組み合わせによって調光性能や特性は変化する。
- ランプを従来型の12VAC磁気式変圧器に接続した場合、TRIAC調光器による制御で良好な調光効果を得られる可能性が高い。しかし、調光性能は調光器のメーカーや型式によって異なる。
- ランプを12VACの電気式変圧器に接続した場合、システムが正常に動作し(ランプと変圧器の適合性がある場合)、TRIAC調光器も正常に動作する可能性が高い。しかし、調光性能は調光器のメーカーや型式によって異なる。
- 通常の12VDCデバイスは電圧が固定されているため、12V出力調光器は一定の12VDC電圧では動作しない。そのため、12VDCで正常にランプが動作しても、調光器が正常に動作しない場合があり、接続すると以下の問題が発生する可能性がある。1. 調光効果がない 2. ランプのちらつき 3. ランプの発火。